

中央市社協が「災害救援マニュアル」を策定

被災地での教訓

日頃やっていないことは
そう簡単にはできない

大規模災害に備え、社協はどう対応すべきか。中央市社協では、その手引書となる「災害救援マニュアル」を本年6月に策定しました。その概要をご紹介します。

被災者支援にボランティアが力を発揮

世界の各地で災害の脅威が年々大きくなってきている中、山崎断層帯を抱えた中央市でも、災害はいつ、どの程度の規模のものが起こるかわかりません。12年前に発生した阪神・淡路大震災において、行政の救援活動や福祉活動はその立ち上げに多くの時間を要しました。

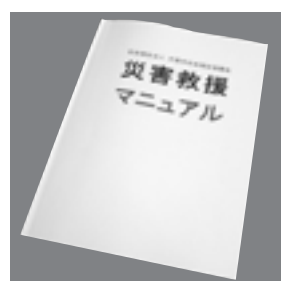
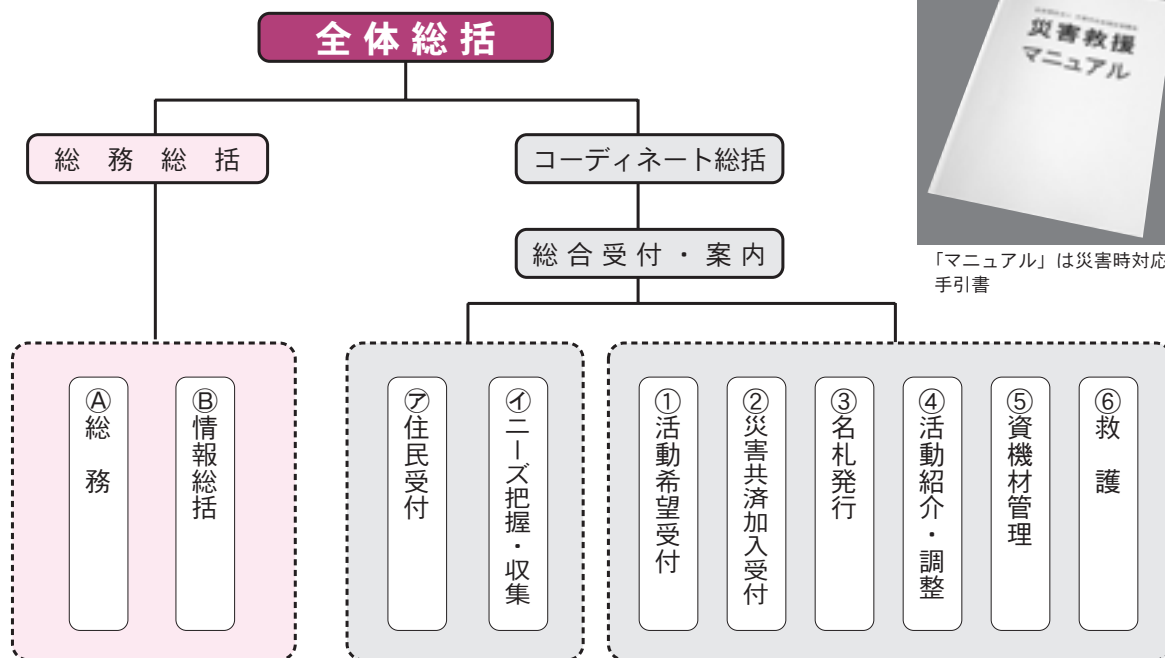
混乱の中、いち早く高齢者・障がい者の安否を確認し支援

したのは、地域住民や地元のボランティア、そして全国から駆けつけたボランティアでした。この時から、災害時に自ら行動を起こすボランティアや市民の力が、被災者支援にいかにか大きな力を発揮するか、ということが明らかになりました。

「災害救援マニュアル」は災害時対応の手引書

合併前の町社協時代は、地震発生時の社協の対応や災害救援ボランティアセンターの

災害救援ボランティアセンター組織図



「マニュアル」は災害時対応の手引書

- 地域の組織との連携・情報交換（行政・自治会・婦人会・民生児童委員・民生協力員・福祉委員・ボランティア・NPO団体）
- 県・他市町社協スタッフの派遣